Ding-Dong：ソーシャルな婚活支援システム

吉椿 薫　　片倉弘貴　　増井 俊之　　安村 通晃*

概要. 日本では晩婚化・非婚化が進展し，少子化の主因である婚姻率の減少は深刻な社会問題である.「婚活しなければ結婚できない」とさえ言われる現在，数多くの婚活サービスが提供され利用者も増えているが，未婚率を是正・解消するには至っていない．かつて主流であった見合い婚や職場婚などのマッチングから，自由な恋愛結婚へと移行したことによって婚活が長期化しており，未婚者のモチベーション維持が課題となる．しかし，婚活システムの多くは閉鎖的な環境で自助努力に依存したものとなっているために，婚活を行なう未婚者の負担が重く，心の支えが必要な状況にある．そこで，婚活における相互関係性を革新し，従来の婚活をソーシャル化して，第三者の支援を得ながらインターネット上で婚活を行なうシステム “Ding-Dong” を提案する．婚活に対するモチベーションの継続と精神的負担の軽減を目的として，親しい友人や親族のネットワークが構築された SNS を活用する婚活アプリケーションを開発した.

1　はじめに

1970 年代以降，日本では晩婚化・非婚化が進展している．1990 年に報じられた合計特殊出生率，いわゆる “1.57 ショック” が国内に大きな衝撃を与えて以来，少子化の主因として結婚減少に関心が集まるようになった．山田 [2] がネーミングした「婚活」が流行語にもなり，数多くの婚活サービスが提供され利用者も増えた．こうしたトレンドが婚活の敷居を下げることに寄与したと言えるが，実際には未婚率を是正・解消するには至っていない [3]．見合い婚や職場婚によってマッチングがなされていた時代に比べ，自由な恋愛結婚が主流となった現在では，婚活が長期化しており，未婚者のモチベーション維持が課題となる．しかし，結婚に踏み切るまでのマッチングに伴う未婚者の経済的・精神的負担は，個人で負うにはあまりにも大きい．現在の婚活システムの多くは，閉鎖的な環境で自助努力に依存したものとなっているために，婚活を行なう未婚者の心を支える支援が必要である.

こうした課題を解決するために，既婚男女が知り合ったきっかけとして最も多い「友人や親族の支援」[1] に着目し，友人ネットワークが構築されている SNS の応用を検討した．現状の婚活における相互関係性を根本から見直し (図 1)，従来の婚活をソーシャル化することによって，友人や親族など第三者による支援を得ながら，インターネット上で婚活を行なうシステムを提案する.

図 1. 婚活における相互関係性の革新

2　提案システム：Ding-Dong

インターネット上の婚活サービスの多くは，プライバシー保護の観点から閉鎖的な場となるために，第三者が介入できる余地がなく，当事者の独力に依存した状況の中で婚活を行なうことになる．このような環境では，他者に相談したりアドバイスを求めることが難しく，精神的負担によって婚活を断念する人も少なくない．これまで周囲に悟られないよう行われる傾向にあった婚活だが，むしろソーシャル化して婚活の状況を親しい友人などと共有すれば，具体的かつ的確な支援が得られやすくなり，当事者の負担を軽減できるのではないかと考えた．そこで，既に友人ネットワークが構築されている Facebook

Copyright is held by the author(s).
* Kaoru Yoshitsubaki, 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科, Hirotaka Katakura, 慶應義塾大学 総合政策学部, Toshiyuki Masui and Michiaki Yasumura, 慶應義塾大学 環境情報学部

を活用し，そのアプリケーションとして，親しい友人や同僚, 親族なども一緒に婚活に参加できる婚活支援システム “Ding-Dong” を開発した (図 2).

図 2. Ding-Dong トップページ

3 機能と期待する効果

3.1 モチベーション継続機能

Ding-Dong で最も重要な機能が「応援団」である．婚活には，多くの人に出会えば出会うほど，相手から断られる機会も増えるという心折れる側面がある．しかし，アプリケーションに応援団を加えることによって，応援団の励ましや見守りが当事者を鼓舞し，婚活に対するモチベーションを向上させる効果が期待できる．Ding-Dong 内に参加している人であれば，当事者であっても応援団であっても，相手側と相互にコミュニケーションが取れる．例えば，気に入った相手へ直接メッセージを送ることがためらわれる場合には，まず相手の応援団に相談してみることも可能である．

3.2 魅力増大機能

Ding-Dong には，応援団の推薦文のような第三者目線による人物紹介や，当事者と応援団との会話，自由に作成されたアルバムなど Facebook の機能を生かしたコンテンツを備えており，ユーザーの日常的な表情を垣間見ることができる．一般的な婚活システムでは，型にはまったプロフィールや堅い表情の写真，自己評価など主観的なコンテンツが多く，それらの情報では真の人柄まで判断しにくい．画一的なプロフィールよりも，応援団が引き出す自然な姿には親近感が湧き，当事者の魅力も増すと考えられる．

3.3 人物・情報保証機能

相手が提示している情報が虚偽のないものかどうかは，婚活において極めて重要である．当事者の言葉によるプロフィールページだけでは，その情報の信憑性を判断するのは難しい．正確な情報を得るには，結婚相談所などの民間サービスを利用する手段もあるが，それには高額な費用がかかる場合がある．Ding-Dong では，当事者が記載したコンテンツの内容や他者の書き込みについて，応援団が目付け役になると同時に，当事者の人物を保証する役割を担うことができる．

3.4 意思決定促進機能

婚活の状況を情報共有することで，応援団にも当事者の好みの傾向や婚活における問題点，課題などが見えてくる．周囲の人々が不透明な状況で行われている婚活を憂慮するよりも，応援団として参加して状況が把握できれば，的確なアドバイスが可能となる．また，当事者が相手選びや活動に迷いが生じた際には，応援団と共にディスカッションしながら意思決定を進めることができる．

4 まとめと今後の課題

本稿では，婚活をソーシャル化し，友人や親族など第三者による支援を得ながら，インターネット上で婚活を行なうシステムを提案した．長期化する婚活を活発化させるためには，婚活に対する未婚者のモチベーション維持と負担の軽減が必要となる．こうした課題を解決するために，婚活における相互関係性を革新し，親しい友人や親族の支援を活用できる Facebook アプリケーションを実装した．

今後は，婚活を行なっている未婚者によるテスト利用を行ない，婚活に伴う負担の軽減や意思決定支援の効果について検証する必要がある．また相手に求める厳しい条件が婚姻の可能性を狭めていることから，未婚者の意識改革を志向するコンテンツなど，追加機能についても検討を行なっていく．

参考文献

[1] 国立社会保障・人口問題研究所. 平成 17 年・わが国夫婦の結婚過程と出生力—第 13 回出生動向基本調査. 厚生統計協会, 2007.

[2] 山田昌弘, 白河桃子. 「婚活」時代. ディスカヴァー・トゥエンティワン, 1998.

[3] 内閣府. 第 24 回子ども・子育て白書, 2011.